

## 第5学年 社会科

# 我が国の産業と情報との関わり

教材名 情報を生かして発展する販売業

### 単元の目標

販売情報を収集・分析して商品の販売量を予測し、入荷量を決定するなど、大量の情報や情報通信技術を活用して、販売業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解する。また、聞き取り調査や各種資料を通して、必要な情報を調べ、まとめる技能を身に付けることができる。 (知識及び技能)

販売業で必要としている情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、販売業などの産業における情報活用の現状を捉えることを通して、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現することができる。 (思考力、判断力、表現力等)

販売業における情報の活用の現状を調べ、学習問題の解決に向けて意欲的に追究しようとするとともに、我が国の産業の発展について考えようとする。 (学びに向かう力、人間性等)

### 指導のポイント

- 目に見えない情報のやり取りを図にすることにより、情報システムの利便性をより明確に捉えられるようにする。
- 店側や客側の立場で多角的に情報システムを捉えることにより、その仕組みのよさや問題点についてより深く理解できるようにする。

### 単元（題材）の指導計画

次	時	児童の学習活動	指導上の留意点
1	①	<p>コンビニエンスストアに関する情報を基に、学習問題を設定する。</p> <p>コンビニエンスストアは、どのようにしてみんなのニーズに responding しているのだろう。</p> <p>学習問題に対して、予想し、調べる方法を考える。</p>	<p>• コンビニエンスストアが便利であることに気付かせ、便利である理由を考えさせることで、学習問題を設定する。</p> <p>• 商品、ATM、予約、宅配便の受け取り、チケットの購入、コピー、振り込みなどに着目させる。</p>
2	② ③ ④	<p>コンビニエンスストアの情報ネットワークの仕組みについて調べる。</p>	<p>• 3年生の「地域に見られる生産や販売の仕事のようす」の学習を想起させ、生産・販売の仕組みを振り返らせる。</p> <p>• コンビニエンスストアで働く人から話を聞き、目に見えない情報のやり取りを図に表すことで、販売業における情報ネットワークの仕組みを理解させる。</p>
3	⑤	<p>情報のネットワーク化によるコンビニエンスストアの変化から、情報ネットワークの特徴を考える。 【本時】</p>	<p>• 情報のネットワーク化によって、効率的な商品の発注や時間短縮、欠品防止などの利点について理解させるとともに、全てをコンピュータに任せることの危うさにも気付かせる。</p>
4	⑥ ⑦	<p>情報を活用した他の産業について調べる。</p>	<p>• 情報を活用して発展している他の販売（回転寿司、スーパーマーケットなど）、運輸、観光、医療、福祉などの産業について調べ、交流させる。</p>

## 展開例（本時 5/7）

本時の目標		コンビニエンスストアの情報ネットワークのよさや問題点を、店側や客側の立場から多角的に捉え、考え表現する。	
導入	児童の学習活動	指導上の留意点	
		○コンビニエンスストアでの情報ネットワークについて振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時までに学習した情報ネットワークの図を見ながら、様々な情報のやり取りの仕組みを全体で確認させる。</li> </ul>
	<p>情報がネットワーク化されたコンビニエンスストアでは、お店やお客にとってどのようなよさがあるのだろうか。</p>		
展開	○情報がネットワーク化されたコンビニエンスストアのよさを考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報のネットワーク化による変化を考えるときには、店の立場か客の立場かを明確にして考えさせる。</li> </ul>	
	<p>（お店側）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>労働時間を短縮することができる。</li> <li>売り切れ、売れ残りが減る。</li> <li>商品の発注が楽にできる。</li> <li>効率的に商品を発注できる。</li> <li>接客の時間が増える。</li> <li>値段の付け替えをしなくてよい。</li> <li>売り上げの計算が楽になる。</li> <li>お客の情報を管理しやすくなる。</li> <li>従業員の出勤を管理しやすくなる。</li> </ul> <p>など</p>	<p>（お客側）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>会計の時間を短縮できる。</li> <li>欲しい商品が揃っている。</li> <li>おつりの間違いがなくなる。</li> <li>お金がいらぬ（カードで支払える）。</li> <li>ATMが使える。</li> <li>チケットが買える。</li> <li>宅配便を受け取ることができる。</li> </ul> <p>など</p>	
まとめ	○ネットワーク化されたコンビニエンスストアの問題点を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>発注を自動化するコンビニエンスストアがあり、発注数まで決めてしまうと、店としての特徴が薄れてしまう可能性もあるので、全てを情報ネットワークに任せるのではなく、最終的には人の判断が大切であることに気付かせる。</li> <li>個人情報の扱い方やセキュリティの大切さについて気付かせる。</li> </ul>	
	○学習のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報ネットワークを使うことのよい点と問題点を、店の立場や客の立場から多角的に捉え、生活が便利になっていることに気付かせる。</li> </ul>	
	<p>コンビニエンスストアでは、情報ネットワークの活用によって、時間短縮ができる、商品の購入の管理がしやすくなる、欲しい商品が揃うなど、お店側にもお客側にもよいところがたくさんあり、私たちの生活が便利になっている。</p>		